



知っていますか？ シックスクール

子どもの環境を考える親の会
連絡先 0134(25)1182 or(27)5100
e-mail sato-jin@star.odn.ne.jp
No.78 2010年9月
会報は皆さんの会費によって作られています。
郵便振替 02760-4-77134 1100円/年

原子力ポスターを描くまえに 子どもたちに伝えよう！ ブルーベリーの話

09年12月に、富士貿易がフランスから輸入した瓶詰のブルーベリージャムから基準値を超える放射能が検出され、356個が回収されました。さらに、今年に入ってブルーベリーコンポート2件から100ベクレルを超える高い値も検出されました。この結果を受けて、厚労省の医薬食品局食品安全部監視安全課は、各検疫所長に対して検査強化の指導をしています。「旧ソ連原子力発電所事故に係る輸入食品の監視指導について」を改正し、検査対象に「ポーランド、ウクライナ及びスウェーデンから輸入される『ベリー類濃縮加工品』の全ロット検査」を追加したのです。

チェルノブイリ原発事故で放出された放射性セシウムは半減期は30年。ヨーロッパではいまだに高濃度の汚染地域があり、それらの地域のもので出回っているのではないかと推測されているようです。

小金井市では、1986年のチェルノブイリ原発事故後、市民運動の中で、市が放射能測定器を購入しました。以来20年間、市民グループ“小金井市放射能測定器運営連絡協議会”が食品に含まれる放射能を測定しています。この市民グループが行った08年4月から1年間の測定で、ブルーベリー製品(ワイン、ジャム、砂糖煮など)24検体中、12検体から10ベクレルを超えるセシウム(最高52ベクレル)が検出されたそうです。市民グループが知らせてくれるまで、国の基準値を超えた商品が市場に出回っているということは、いっさい報道されませんでした。

原子力資料情報室によると、チェルノブイリ事故後、日本各地に市民が行動するかたちの「放射能測定室」が誕生したそうですが、測定器に寿命がきても買い換える経済的基盤がなかったり、自治体から継続する予算が取れずにやむをえず閉鎖したところもあるということです。

小金井市議で小金井市放射能測定器運営連絡協議会のメンバーでもある漢人(かんど)明子さんは、「身近なお店で入手できる食品、最近安売りされている銘柄から複数の高い値がでている」と話しています。

放射能汚染食品が、再び私たちの身近なところに顔を覗かせました。国は、子どもたちに「原発のポスター」を描かせ、エネルギー政策に加担させようとしています。このブルーベリーの話子どもたちにするだけで、多くを語らずとも原発の本当の姿がわかるのではないのでしょうか。

そのまま信じてはいけない？ 教育ほっかいどう家庭版 『ほっとネット』

北海道教育委員会発行の『教育ほっかいどう家庭版 ほっとネット』が全道の小中学校の児童生徒に配布されています。vol.27 には、特集1~4 まであり、特集2では、「心のノート」を紹介し、保護者会や家庭訪問等でこのノートについて説明し、保護者と一体になって道徳教育を進めると書かれています。特集3では、ネット上のいじめや有害情報などのネットトラブルから子どもたちを守るとして、保護者の心がけが書かれています。特集4では、子どもの歯の健康を守るために「フッ化物洗口」を正しく理解しましょうと「フッ化物洗口」の必要性が書かれています。北海道教育委員会は本道の子どもの虫歯予防のために、学校における「フッ化物洗口」を積極的に推進するそうです。最後には、「学校教育における法令等違反に係る情報提供制度」のご案内も、しっかり掲載していました。……「えっ？何か変ですか？」「？？？」ほとんどの保護者の皆さんは、何の疑問も持たずに読むことでしょう。それが、怖いのです。

農家と農村地帯の住人こそ農薬の被害者

化学物質アドバイザーの榎田さんは「農薬被害の多くは、農薬の使用現場の農村で発生する」といいます。有害物質は呼吸から吸収するのが一番危険だということは周知の通り。農村地帯は、農薬の空中散布を含め農薬使用が定期的に行われるので、その地域の住民は流れてくる農薬を日々吸いながら生活していることとなります。長年農薬に曝露されていても何の異常もなく過ごす人もいますが、極微量の農薬に反応して苦しむ人もいます。特に、胎児や幼児などは、有害物質を排除する機能が未熟なので心配です。

08年の農薬中毒調査では、死亡107件(うち自殺104人)、中毒67件だったそうです。農薬の多くには神経毒性があり、慢性中毒症状にはうつ症状があります。榎田さんは「農村で死にたいと思ったときに身近に農薬があるのも不幸を増やしている」と話します。

年中、安くて形の良い農作物を食べたいという消費者のわがままな要求が、農家やその周辺で暮らす人々を追い込んでいるのかもしれない。野菜を買うとき、農村地帯の子どもたちのことを、ちょっと考えてみませんか。

たかが照明、されど照明 灯りのこと気にしてみませんか

蛍光灯は、ガラス管の中で放電を起こすため高い電圧が必要で、強い電磁波がでます。眼に対する刺激も強いので、デスクスタンドなど頭に近い場所で使う照明やリラックスしたい寝室、居間には、蛍光灯は不向きで白熱灯がお勧めだそうです。また、人間の睡眠に関係するホルモン“メラトニン”は、夜間に光を浴びると分泌が抑制されるので照明をつけたまま眠ると脳が休まらず疲れがとれません。九州大の安河内朗教授(生理人類学)は光の色について「夜の遅い時間は、メラトニンの分泌を抑制しにくい赤っぽい照明がよい」といいます。ちなみに、昼間でも単調な眠たくなるようなオフィスでは青い照明、議論が熱くなるような場所では、なごやかな気持ちになる赤っぽい照明にするのもよいそうです。

高木学校/崎山比早子さんの講演を聴いて

幌延 核のゴミを考えるサマーキャンプ 講演 『危険な放射能・放射線 医療被ばくからまなぶ』を聴いて
小樽・子どもの環境を考える親の会 三ツ江真理子

人間の細胞は放射線にあたると遺伝子に傷をつけ、例え、微量の放射線であっても、回数を重ねるとガンリスクを高めます。被ばく率が高いのは CT、マンモグラフィー、胸のレントゲンと続きます。米英国では検査を受ける前に患者へ危険性を知らせるのだそうです。しかし、日本では医学教育の中で、放射線が生物に与える影響でさえ教えていないということです。CTの台数を世界が所有するうちの4分の1を持ち、世界第1位の医療被ばく国である日本。参加者の中には、毎月レントゲンを撮っているけれど、と心配して質問している方がいました。私はこの会報を読んでいたの、情報を得ることができていましたが、多くの方は目から鱗といった反応でした。また、講演の中で、いちゃもんをつける派手なオバちゃんとおネエちゃんが登場する(寸劇)場面があり、深刻な内容であっても笑いながら聴き入れられ、すごくいいなと思いました。寸劇には小児科の診察室バージョンもあるそうです。こちら是非みてみたいです。

高木学校通信 69より **東京** 草の根歯科研究会患者塾 講演『医療被ばくについて考えよう』の感想—を読んで

歯科の開業医を23年間されているK医師は、学生時代に「歯科のレントゲン数万枚と1年間の放射線自然被ばくの量が同じだ」と教えられたそうですが、崎山さんの講演で放射線が蓄積することを知り驚いたそうです。K医師の知り合いの放射線科医でさえ、CTのがんになるリスクを尋ねたところ「まったく問題ない」と答えたといいます。K医師は、「医療者はまず事実を知ること」「常に診断の利益とリスクを患者に正しく伝える義務がある」と感想を述べられていました。

K医師のように、まず知るために足を運び、理解したら患者さんの利益になるように行動転換ができる医師は、ほんの一握りです。こういう方は、人としても信頼できます。 神聡子

* 崎山比早子氏 医学博士、マサチューセッツ工科大学研究員、放射線医学総合研究所主任研究官を経て高木学校メンバーに。(詳しくは会報No.70 コラム参照ください)

していますか？シックスクール シックスクールに悩む子どもたちと化学物質過敏症という病気

★シックスクールは、個人の持ち込むものでもおこります

学校内の建材や備品、教材がシックスクールの原因になることを会報76、77で紹介しました。しかし、シックスクールは個人が各家庭から持ち込むものでもなるのです。

・教職員の方や児童生徒が身に付けて家から持ち込むもの

香水、化粧品、制汗スプレー、ヘアスプレー、衣類(ドライクリーニング、撥水スプレー、防虫剤、タバコのニオイ)、合成洗剤、柔軟剤、バックや靴の合成皮革、プラスチック、文具具、エアークリーンパス(部活でのエアークリーンパス使用は屋外で)など。

★シックスクールを放置していると“化学物質過敏症”に移行することも！

シックスクール(シックハウス)は、具合が悪くなったその場所から離れると症状が治まるか軽減しますが、“化学物質過敏症”は、その場を離れても症状が消えません。

“化学物質過敏症”とは、一度に大量の有害化学物質に晒されたり、微量でも長期間晒されていると発症します。大人も子どもも、男も女も関係ありません。やせた人も太った人も筋肉質のスポーツマンでも発症します。発症すると、他の人にはわからないくらいの微量の化学物質にも反応し、日常生活が困難になります。症状は、鼻炎症状、咽頭不快、頭痛、関節痛、筋肉痛、意欲の低下、疲労感、立ちくらみ、うつ、咳込み、悪心、嘔吐、睡眠障害、月経異常、熱、鼻血、意識消失など多種多様です。アレルギー体質の方はなりやすいといわれています。化学物質過敏症になると、治癒は困難になります。

★子どもたちの悲痛な叫びを聴いてください

肉体的被害の他にも、病気に対する無知、無理解により教育を受ける権利を剥奪された事例があります。教師の不適切な言動(「気のせい」「なまけている」「特殊な子」など)により周りの友人からいじめ・差別を受けたり、嫌がらせをされたりして、学校に行けなくなったのです。また、担任教師の化粧品で体調を悪くしても、教師の化粧をする権利を優先させた事例では、裁判も起こっています。

逆に、教師の理解と他の生徒への指導で、学校全体がきれいな空気になり、生徒同士が過敏症の子を労わるようになった学校もあります。

★学校としての取り組み事例

*小樽市のS中学校では、過敏症の生徒が修学旅行に参加できるように、バスや電車の消毒、ホテルの消毒、洗剤、換気などの交渉を旅行会社と協力して行ってくれました。また、『学級通信』を通して、ニオイによって苦しんでいる人がいることや授業を受ける権利などについて理解を求めています。

*名古屋市瑞穂区の市立小学校では、『学校通信』に保護者にあて「保護者の整髪料や香水などに反応して息が苦しくなるなどのアレルギー症状が出るようです。鼻やのどを刺激するような整髪料や香水を控えていただくと、大変助かります」と協力を求めています。

*霧が丘第三小学校のHPには、「環境に優しい学校にするための取組については、基本的には、そのように配慮した環境は誰にも優しい環境であると捉えて行っていました。」と書かれています。さらに、「油性のカラーペンなどは、一度に大量に用いることを避けます。利用する場合、窓等を開放するようにします。原則として教室では行わず、特別教室や野外を利用する方法を考慮します。学校で一番に問題になるのは、ワックスですが、ワックス類は原則として用いませぬ。どうしても必要な場合、長期休業中の作業とし、児童には取り扱わせませぬ。体育館の床ワックス塗りも同様の処置をとります。」と書かれています。すごいですね！

～学校で私たちにできること～

- ◇ 校舎の新しい古いに関係なく1時間に最低1回、窓を開けて換気する。(教室の出入り口も開ける)
- ◇ 学校で備品を購入した場合やリフォームした場合には、市に空気の検査をお願いする。(担任の先生か校長先生へ依頼する)
- ◇ ワックスを塗るのなら有害化学物質ゼロのワックスを長期休暇が始まってすぐに塗り、十分換気をする。
- ◇ 油性ペンでの作業、版画や粘土など有害物質が揮発する授業では、必ず窓開け換気をしながらす。教室内に展示する場合は、展示中は常に換気する。
- ◇ 家庭からの持込にも注意を。(新品の物、ドライクリーニング、撥水加工や防水加工した衣類、柔軟仕上げした衣類、整髪料などの化粧品類)
- ◇ 一人でも体調を崩したら、センサーだと思って換気をし、原因を調べる。

換気回数	標準
幼稚園・小学校	=2.2回/時以上
中学校	=3.2回/時以上
高校等	=4.4回/時以上

★行政の取り組み～公共の場で被害を受けることがないように！～

昨年10月から、化学物質過敏症の病名で保険請求できるようになりましたが、発症者に対する支援はほとんど進んでいないのが現状です。化学物質過敏症患者は、シックハウス症候群も含め、国内の推定数は成人だけでも70万～100万人とする調査もあり、その数も年々増えています。過敏症患者さんが安心して生活するためには、一人ひとりの理解と協力が不可欠です。特に公共の場では、ニオイによる迷惑を考えましょう。

各自治体の動き

NPO法人・化学物質過敏症支援センター(横浜市)によると、香水や化粧品などの「香料使用自粛」のポスターを**公共施設や病院、学校**などに掲示し、市民に化学物質過敏症患者への配慮を求めているところもあるそうです。

- ・岐阜市は05年度から市役所やすべての小中学校で、香料自粛のポスターを掲示している。
- ・千葉、岡山、広島の3県と21市町が、ポスターなどで啓発を進めている。
- ・東京(中野区)大阪、さいたま、神奈川、などでも市のHPに化学物質過敏症患者の理解と協力を呼びかける文書が掲載されている。

これらの動きが、一日も早く全国の自治体に広がってくれるように私たちも声をあげましょう。



会報『していますか？シックスクール』を置いてくださるお店紹介！

シロクマ食堂

場所 小樽市朝里川温泉 2-686 電話 080-6048-8053 11:00～22:00
オーナーより「定休日なし。でも、買い物に行ったり、水を汲みに行ったり、昼寝をしたりしていることがあるので、連絡してから来てください」。メニューにないものでもお客様の希望にそったものを作ってくれます！食材は安心素材にこだわり、洗剤類も純せっけんを使用。木のぬくもりが暖かな森の中の一軒家です。お子さんと一緒に行くと楽しいかも。